

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災交流センター施設整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

機管理部 危機管理政策課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内2817)

E-mail：c11117@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 36,486 千円 (前年度予算額: 38,630 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 38,630 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36,700 | 1,930 |
| 要求額 | 36,486 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36,400 | 86 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

防災交流センターは、大規模災害により県庁舎が被災し、通信機能が麻痺した場合のバックアップ施設として、災害対策の拠点の役割を果たすため、平成11年に開館し、3階の電子計算機室には各種情報システムのサーバーが設置されており、行政情報システムのインフラ施設としての機能も有している。

今後は、施設の既存機能を維持し、災害時には現地活動部隊の指揮調整活動拠点、新県庁舎における不測の事態に備えた代替施設として活用していく。

開館から20年以上が経過し、施設の経年劣化等がみられることから、計画的な施設整備を行う。

(2) 事業内容

- ・電力設備・受変電設備の更新
- ・消火器の更新

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設であることから県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|--------|------------|
| 需用費 | 171 | 消火器購入 |
| 役員費 | 15 | 消火器処分 |
| 工事請負費 | 36,300 | 電力設備・受変電設備 |
| 合計 | 36,486 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
|--|

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画での位置づけを行っている。

(2) 国・他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

施設設備の状況に応じて計画的に修繕等を実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設であることから県負担が妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
電力設備・受変電設備・消火器を令和5年度に更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備の更新事業であるため。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 令和 2 年度 | ・発電機始動用蓄電池、電気室空調機の更新工事を行った。 |
| 令和 3 年度 | ・屋上・外壁改修工事を行った。 |
| 令和 4 年度 | 令和6年度当初予算にて追加 |
| 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ % | |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p> | |
| (評価) 2 | <p>防災交流センターは県庁舎バックアップ施設として、また、県サーバーの設置施設として極めて重要な施設であり、建物や付随する設備に不具合・故障が生じる前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する必要がある。</p> |
| <p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県防災交流センターが平成11年に開館してから20年以上が経過しており、今後ますます施設設備の老朽化が進むことが予想される。 今後も計画的に改修を実施し、老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消していかなければならない。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設設備の老朽化・経年劣化等が進むなか、計画的に改修を実施する必要がある。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | 【〇〇課】 |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |